

教科（科目）	音楽	単位数	単位 1. 7	学年（コース）	1 学年
使用教科書	音楽のおくりもの 中学音楽1（教育出版）、音楽のおくりもの 中学器楽（教育出版）				
副教材等	My Song 7 訂版				

1 学習目標

幅広い音楽活動を通じて、豊かな感性や情操を涵養し、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育て、音楽表現に必要な技能や知識を身につける。

2 指導の重点

偏りのない様々な音楽表現活動をする。表現活動の楽しさを通して、豊かな感性や情操を育てる。音楽表現に必要な基礎的な技能や知識を身につけさせる。

3 評価基準

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動の様子 ・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・実技テスト ・定期考査 ・提出物 ・振り返りシートの記述

4 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動	評価の観点	評価の方法
4	歌唱	5	校歌	「高志中等教育学校 校歌」	a c	歌唱テスト
5	歌唱 器楽 鑑賞	6	校歌 喜びの歌 オーラ・リー 春	「高志中等教育学校 校歌」歌詞についての理解と表現を深める活動 アルトリコーダー演奏(運指ド～ソ)「喜びの歌」「オーラ・リー」 「春 第一楽章」ヴィヴァルディ・ソネット・弦楽合奏・弦楽器について	abc	ワークシート
6	歌唱 器楽	6	ロングロングア ゴー 夏の思い出	アルトリコーダー演奏(運指ソ～ド)「ロング・ロング・アゴー」 「夏の思い出」二重唱 形式や音楽記号について	abc	実技テスト
7	歌唱 器楽	4	ロングロングア ゴー 夏の思い出	アルトリコーダー演奏(運指ソ～ド)「ロング・ロング・アゴー」 「夏の思い出」二重唱 形式や音楽記号について	abc	実技テスト
8	鑑賞 歌唱	2	選択曲	合唱発表会に向けて クラス曲選曲と練習	bc	ワークシート
9	歌唱 創作	6	選択曲	合唱表会に向けて クラス合唱練習 楽しいリズム曲をつくろう 音符・音楽記号についての理解	abc	振返用紙 ワークシート
10	歌唱 器楽	6	選択曲 ソナタ K331	合唱発表会に向けて 楽曲の練り上げ アルトリコーダー演奏「ソナタ K. 331」	abc	歌唱テスト
11	器楽 鑑賞	6	ソナタ K331 合唱曲 魔王	アルトリコーダー演奏「ソナタ K. 331」アンサンブル演奏 合唱発表会 ビデオを鑑賞しながら振り返り 「魔王」シューベルト・ゲーテ・物語と曲想の変化について	abc	実技テスト 振返用紙 ワークシート
12	鑑賞 創作	4	きらきら星変奏曲	共通事項の理解 リズム創作から旋律創作へ	abc	ワークシート
1	器楽 鑑賞	5	もみじ 六段の調 さくらさくら	アルトリコーダー演奏「もみじ」演奏 箏曲「六段の調」日本の伝統音楽の特徴について 箏を使って「さくらさくら」の演奏	abc	ワークシート 実技テスト
2	器楽 創作	5	もみじ	アルトリコーダー演奏「もみじ」 リズムの理解とそれを組み合わせた創作活動①	abc	実技テスト ワークシート
3	創作	5		リズムの理解とそれを組み合わせた創作活動②	abc	ワークシート

計 60 時間 (55 分授業)

5 課題・提出物等

- ・ワークシート
- ・実技テスト
- ・鑑賞レポート提出
- ・振り返りシート提出
- ・筆記テスト (年2回)

6 担当者から一言

音楽は、私たちの日常生活に欠かせないものであり、世界には様々なジャンルの音楽がある。高等学校での学びを通して、それらのよさや特徴に気づき、生涯にわたって音楽を愛好する態度を育てるとともに、自ら表現することの喜びを実感してほしい。
小学校での学びをもとに、表現・鑑賞のための基礎基本、共通事項を確実に定着させるための指導に力を入れていく。

(担当者 春日 亜樹)

教科（科目）	音楽	単位数	単位 1	学年（コース）	2年
使用教科書	音楽のおくりもの 中学音楽2・3上下（教育出版）音楽のおくりもの 中学器楽（教育出版）				
副教材等	My Song 7 訂版				

1 学習目標

幅広い音楽活動を通じて、豊かな感性や情操を涵養し、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育て、音楽表現に必要な技能や知識を身につける。

2 指導の重点

偏りのない様々な音楽表現活動をする。表現活動の楽しさを通して、豊かな感性や情操を育てる。音楽表現に必要な基礎的な技能や知識を身につけさせる。

3 評価基準

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動の様子 ・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・実技テスト ・定期考査 ・提出物 ・振り返りシートの記述

4 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動	評価の観点	評価の方法
4	歌唱	2	生命が羽ばた くとき	曲想・構成に応じた表現の工夫	abc	歌謡テスト
5	鑑賞	3	小フーガト短 調	楽器の音色と形式に着目して曲の よさを感じ取ろう	bc	ワークシ ート
6	歌唱 器楽	4	浜辺の歌	2部形式と旋律に着目して表現を 工夫しよう	abc	歌謡テスト ワークシ ート
7	鑑賞 歌唱	3	選択した合唱 曲	合唱発表会に向けてそれぞれの曲 のよさに注目して選曲しよう	bc	ワークシ ート
8	歌唱	1	選択した合唱 曲	旋律とリズムに気をつけて歌おう	ac	振返用紙 観察
9	歌唱	3	選択した合唱 曲	旋律とリズムに気をつけて、曲の 特徴に注目しながら歌おう	abc	振返用紙 観察
10	歌唱	4	選択した合唱 曲	曲想と歌詞とを結びつけて、より よい表現の工夫を考え表現しよう	abc	歌唱テスト
11	鑑賞	4	合唱曲 交響曲第5番	合唱の振り返り 形式に注目して曲のよさを味わ おう	bc	ワークシ ート
12	鑑賞	3	越天楽	雅楽の歴史的背景を理解しなが ら、音色や音の重なりに注目して よさを聴き取ろう	bc	ワークシ ート
1	器楽	3	故郷	アーティキュレーションや旋律の つながりを考え、表現を工夫して 演奏しよう	abc	実技テスト
2	創作	3		動機を使って工夫して作曲しよう	abc	ワークシ ート
3	歌唱	3	早春賦	歌詞と旋律との関わりを考え、表 現を工夫して表現しよう	abc	歌謡テスト ワークシ ート

計35時間(55分授業)

5 課題・提出物等

- ・ワークシート
- ・実技テスト
- ・鑑賞レポート提出
- ・振り返りシート提出
- ・筆記テスト(年2回)

6 担当者から一言

音楽は、私たちの日常生活に欠かせないものであり、世界には様々なジャンルの音楽がある。高等学校での学びを通して、それらのよさや特徴に気づき、生涯にわたって音楽を愛好する態度を育てるとともに、自ら表現することの喜びを実感してほしい。

中学1年生での学びをもとに、鑑賞や表現を自主的に追究させるための指導に力を入れていく。
(担当者 春日 亜樹)

教科（科目）	音楽	単位数	単位 1	学年（コース）	3年
使用教科書	音楽のおくりもの 中学音楽2・3上下（教育出版）音楽のおくりもの 中学器楽（教育出版）				
副教材等	My Song 7 訂版				

1 学習目標

幅広い音楽活動を通じて、豊かな感性や情操を涵養し、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育て、音楽表現に必要な技能や知識を身につける。

2 指導の重点

偏りのない様々な音楽表現活動をする。表現活動の楽しさを通して、豊かな感性や情操を育てる。音楽表現に必要な基礎的な技能や知識を身につけさせる。

3 評価基準

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動の様子 ・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・実技テスト ・定期考査 ・提出物 ・振り返りシートの記述

4 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動	評価の観点	評価の方法
4	歌唱	2	花	曲想・構成に応じた表現の工夫をして歌おう	abc	歌謡テスト ワークシート
5	歌唱	3	帰れソレントへ	世界の民謡に親しみ、転調と歌詞との関わりを表現して歌おう	bc	ワークシート
6	鑑賞	4	ポレロ	形式と楽器の音色、音の重なりに着目し、曲のよさを感じ取ろう	abc	ワークシート
7	鑑賞 歌唱	3	選択した合唱曲	合唱発表会に向けてそれぞれの曲のよさに注目して選曲しよう	bc	ワークシート
8	歌唱	1	選択した合唱曲	旋律とリズムに気をつけて歌おう	ac	振返用紙 観察
9	歌唱	3	選択した合唱曲	旋律とリズムに気をつけて、曲の特徴に注目しながら歌おう	abc	振返用紙 観察
10	歌唱	4	選択した合唱曲	曲想と歌詞とを結びつけて、よりよい表現の工夫を考え表現しよう	abc	歌唱テスト
11	鑑賞 器楽	4	合唱曲 大きな古時計	合唱の振り返り 曲の背景を理解し、旋律の特徴を生かした表現の工夫をしよう	bc	ワークシート 実技テスト
12	鑑賞	3	歌舞伎 文楽	歴史的背景を理解し、音楽とそれ以外の要素との関わりを考え、総合的にその芸術のよさを感じ取ることができる	bc	ワークシート
1	器楽	3	能 オペラ	歴史的背景を理解し、音楽とそれ以外の要素との関わりを考え、総合的にその芸術のよさを感じ取ることができる	abc	ワークシート
2	器楽 歌唱	3	既習曲 合唱曲	既習曲を復習し、より音楽的な表現を考えながら演奏しよう 歌詞と旋律との関わりを考え、表現を工夫して表現しよう	abc	ワークシート 観察
3	歌唱	3	合唱曲	歌詞と旋律との関わりを考え、表現を工夫して表現しよう	abc	歌謡テスト ワークシート

計 35分授業（55分授業）

5 課題・提出物等

- ・ワークシート
- ・実技テスト
- ・鑑賞レポート提出
- ・振り返りシート提出
- ・筆記テスト（年2回）

6 担当者から一言

音楽は、私たちの日常生活に欠かせないものであり、世界には様々なジャンルの音楽がある。高等学校での学びを通して、それらのよさや特徴に気づき、生涯にわたって音楽を愛好する態度を育てるとともに、自ら表現することの喜びを実感してほしい。

中学2年間の学びをもとに、鑑賞や表現を自主的に追究させるための指導に力を入れていく。

（担当者 春日 亜樹）

(芸術：音楽Ⅰ)

令和6年度シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科				
教科名	芸術（音楽Ⅰ）	単位数	2単位	学年	4学年
使用教科書	『MOUSAⅠ』 教育芸術社				
副教材等	アルトリコーダー、学習プリント、授業振り返りシート				

1 学習目標

・音楽の幅広い表現活動を通して、音楽体験を豊かにし、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 指導の重点

・音楽の幅広い表現活動を通して、音楽体験を豊かにし、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めるよう指導する。

・音楽表現に必要な基礎的な技能や知識を身につけさせる。

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
評価方法	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・実技テスト ・筆記試験 ・授業参加、態度 ・振り返りシート ・鑑賞レポート <p>などから、総合的に評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・実技テスト ・筆記試験 ・授業参加、態度 ・振り返りシート ・鑑賞レポート <p>などから、総合的に評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・実技テスト ・筆記試験 ・授業参加、態度 ・振り返りシート ・鑑賞レポート <p>などから、総合的に評価します。</p>

4 学習計画

月	単元名	授業時数	教材	学習活動 (指導内容)	評価の観点	評価方法
---	-----	------	----	----------------	-------	------

4	表現（歌唱）	6	斉唱「小さな空」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現に必要な技能（腹式呼吸、発声等）を身につける。 ・生徒や教師との対話を通して、曲に対するイメージを膨らませ、表現を練り上げる。 	a、b、c	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・実技テスト ・鑑賞レポート ・授業参加、態度 ・振り返りシート ・筆記テスト（年2回）
5	表現（器楽）	8	ハンドベル「喜びの歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドベルの基礎的な奏法を身につける。 ・ハーモニーやリズムを意識してアンサンブルをすることができる。 ・録音や他者の演奏を聴き、自分の演奏を練り上げることができる。 	a、b、c	
6	表現（器楽） 鑑賞	4	箏「さくらさくら」	<ul style="list-style-type: none"> ・箏の基本的な奏法を身につける。 ・平調子の音階を理解し、調弦することができる。 ・ハーモニーやリズムを意識してアンサンブルをすることができる。 	a、b、c	
		2	ミュージカル「オズの魔法使い」	<ul style="list-style-type: none"> ・総合芸術としてのミュージカルを理解し、音楽とその他の要素を関連させながら視聴することができる。 		
7	表現（歌唱）	5	イタリア歌曲「Caro mio ben」	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の範唱を聴き、イタリア歌曲のイメージを膨らませることができる。 ・イタリア語の発音を理解し、歌詞を正しく発音することができる。 ・歌詞の内容を理解し、表現を深めることができる。 	a、b、c	
8	表現（器楽）	1	アルトリコーダー「ジブリメドレー」	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの基本的な奏法を確認し、それを身につけて演奏することができる。 ・生徒同士で演奏を聴き合い、自分の演奏をより良いものに仕上げることができる。 	a、b、c	
9	楽典	2	教科書（ソルフェージュ）	<ul style="list-style-type: none"> ・音名音部記号、音符休符用語等、基本的な読譜のための知識を理解することができる。 	a、b、c	
	表現（歌唱）	4	合唱「Over the Rainbow」	<ul style="list-style-type: none"> ・演技や台詞を伴った歌唱表現の仕方を身につけ、舞台芸術のよさを味わうことができる。 		

10	表現 (歌唱)	8	合唱「Over the Rainbow」	・演技や台詞を伴った歌唱表現の仕方を身につけ、舞台芸術のよさを味わうことができる。	a、b、c
11	鑑賞	8	各自生徒が選択した曲	・ワークシートを使って音楽の諸要素から楽曲を分析し、その曲のよさを他者に伝えることができる。	a、b、c
12	表現 (器楽)	6	アルトリコーダー 「見上げてごらん 夜の星を」	・リズムやハーモニーをそろえてアンサンブルすることができる。 ・転調など曲想の変化を生かして表現を工夫することができる。	a、b、c
1	鑑賞	6	各自生徒が選択した作曲家の曲 教科書「ソルフェージュ」	・興味のある作曲家とその代表的な楽曲について、作曲された背景や時代背景等を調べて発表することができる。 ・音名音部記号、音符休符用語等、基本的な読譜のための知識を理解することができる。	a、b、c
2	表現(歌唱)	6	ドイツ歌曲「野ばら」	・教師の範唱を聴き、ドイツ歌曲のイメージを膨らませることができる。 ・ドイツ語の発音を理解し、歌詞を正しく発音することができる。 ・歌詞の内容を理解し、表現を深めることができる。	a、b、c
3	鑑賞 振り返	4	・舞台芸術 ・既習曲	・現代の総合芸術の視聴を通して、音楽とその他の芸術的分野との関連やその特徴を捉えることができる。 ・1年間の学習内容を振り返り、音楽的な成長を実感することができる。	a、b、c

計70時間 (55分授業)

5 課題・提出物

- ・授業参加、態度
- ・ワークシート
- ・実技テスト
- ・鑑賞レポート提出
- ・振り返りシート提出

6 担当者からの一言

音楽は、私たちの日常生活に欠かせないものであり、世界には様々なジャンルの音楽がある。高等学校での学びを通して、それらのよさや特徴に気づき、生涯にわたって音楽を愛好する態度を育てるとともに、自ら表現することの喜びを実感してほしい。

(担当：馬場 幸)